

「類義語その4 と時制」

最初にちょっとした情報として US dollar について、米国で使用される紙幣 (Bill) と硬貨 (Coin) を全てご存知でしょうか？

紙幣は7種類、貨幣は6種類あります。紙幣は、100ドル、50ドル、20ドル、10ドル、5ドル、2ドル、1ドルですが、100ドルと50ドルと2ドルはあまり出回っていないので、50ドルや100ドルを店で支払いに使ったりすると、裏面のグリーンスタンプを紙に擦り付けて偽札でないか確認されることがあります。また、特に2ドル札などは、殆ど普通には見たことがなく、ワシントン D.C.にある US 造幣局 (United States Mint) でお土産用に売られているものしか見たことがありません。

硬貨は1ドル (one dollar)、50セント (half dollar)、25セント (quarter)、10セント (dime)、5セント (nickel)、1セント (penny) で、1ドルと50セントはあまり見かけません。

ドルの別称として、a buck で1ドル、a hundred bucks で100ドルとなります。また、1,000ドルのことを a grand と言ったり、1K dollars と言ったりもします。日本の銀行で100Kドルと言っても伝わりませんでした。。。buck は、雄鹿の毛皮を表し、昔は雄鹿の毛皮でネイティブアメリカンと食料を物々交換していたことが名残と聞かれています。コーヒーショップの Starbucks でも bucks が使われていますが、Starbucks の名前の由来は小説「白鯨」に出てくるコーヒー好きな航海士の名前 Starbuck から来ています。

「不満」を表す DISSATISFY, DISPLEASE, DISAPPOINT, DISCONTENT, COMPLAIN

不満を表現する英語にも色々な種類があり、適切な使い分けはわかりにくいのですが、感覚的な違いを自分なりに整理して説明を試みてみます。

dissatisfy は、満足させる (satisfy) ことに失敗することで、不満を抱かせる、不満にする、との意味となり、satisfy も dissatisfy も受動態で使われる (不満にさせられることから不満である) 場合が多いかと思えます。I'm dissatisfied (satisfied). で私は不満です (満足しています)。となります。名刺としての不満では、dissatisfaction となります。ちょっと回りくどい言い方 (二重否定) では、I'm not dissatisfied, but ~, と「不満ではないが、~」とやんわりと文句を言ったりする場合があります。

displease は、不快や不機嫌な状態で腹が立つので、怒らせたり、不快にしたりする場合で、dissatisfy よりも怒りの度合いが強い表現となります。His manner displeased her. や She was displeased with him. で「彼女は彼に (彼の不作法に) 腹を立てた。」となります。

disappoint は、失望させる、や裏切るなど期待していた結果に対して不満となることで、感情的な不満よりはある事を実行したり成し遂げたりする事の期待が裏切られた際の不満を表現して、I'm disappointed in your result. 「あなたのこの結果に不満である。」 また、裏切るや駄目にするなどでは、The accident disappointed our plan. 「その事故が計画を駄目にした。」などとも使われます。

discontent は、動詞としての使用よりも名詞や過去分詞で形容詞として使われる場合が多いように思いますが、意味は、不満に思わせる、や不機嫌にするなどとなり、欲求不満や不平による不満を表すようです。名詞での例文ですが、Discontent is the first step in progress. 「不満は進歩の第一歩」。

complain は、一般的によく使われる動詞で、不満 (愚痴、文句など) を言う (口に出して表現する) 場合となります。complain に続く前置詞によって、complain about は、仕事や店などのジャンルについての不満、complain of は、悪い対応や腰痛などと言った具体的な不満の原因を述べる際に使います。I have nothing to complain about my job. 「仕事への不満は一切ありません。」 や、She complained of his cheating. 「彼女は彼のいたずらに不満を言った。」 complain の名詞形は、complaint で不平や愚痴、苦情などの不満となります。誰か (何か) に不満を言う際に使いますが、独り言のようにぶつぶつ不満を言う際には、grumble を使います。スラングの範疇に入るかと思いますが、牛肉を表す beef に不満の意味もあり、a beef session は抗議集会となり、What are you beefing about? 「何について不満を言っているの?」となったりします。

時制 (tense) について 1

中学校英語の授業での内容のようなものになってしまうかもしれませんが、英語で表現するときの時制についてざっくりと整理して、例外的な内容について少し書いてみようかと思えます。まず、時制を考える際の分類として、大きく5グループで扱うのが良いかと思えます。(時制の例外は1と2がありますが、ひとつとしています。)

時制グループ	過去	現在	未来
基本時制	1 過去形	2 現在形	3 未来形
進行形	4 過去進行形	5 現在進行形	6 未来進行形
完了形	7 過去完了形	8 現在完了形	9 未来完了形
完了進行形	10 過去完了進行形	11 現在完了進行形	12 未来完了進行形
時制の例外 1	不変の真理や諺は常に現在形		
時制の例外 2	時や条件の副詞節の中では、未来のことも現在形		

今回は、完了形についての整理とします。基本時制や進行形は時間軸上では点としての動作や状態を表します。それに対して完了形は、ある時点から別のある時点までの時間軸の線の動作や状態の表現で使いますが、3つの意味があるのはご存知の通りです。それらは、過去完了/現在完了/未来完了に共通でそれぞれ

- (1) 経験：過去のある時点で/今までに/未来のある時点で ~したことがあった/ある/あるでしょう。
- (2) 継続：過去のある時点まで/今までずっと/未来のある時点まで ~し続けていた/いる/いるでしょう。
- (3) 完了・結果：過去のある時点までに/今までに/未来のある時点までに ~してしまっただけ/してしまっただけ/してしまうでしょう。

完了形のこれら3つの意味を判読する、または、明示するためには、その文中のキーワードにより、

- (1) 経験：once, twice などの回数や before 以前に など表現
- (2) 継続：for ~間や since ~からなどで表現するが、過去完了の場合は、過去のある時点を表すために before, till, when 節での説明が必要となり、未来完了の場合は、同様に未来のある時点までを説明することになる。
- (3) 完了・結果：already すでに で表現し、現在完了形の場合は、just ちょうどなども使用され have と過去分詞の間に置かれて使用されます。

非常に簡単な例文を書いてみますが、実際には色々な表現パターンでの使用方法となります。

- (1) 経験 I have been to US twice. 米国へ2回行ったことがある。(go の過去分詞 gone は使えません)
I had been to US twice before I was 20 years old. 20 才になる前に米国へ2回行ったことがある。
I'll have been to US twice before I'm 60 years old. 60 才になる前に米国へ2回行くことになるだろう。
- (2) 継続 I have lived in Japan for 2 years. 2年間(そして今も)日本に住んでいる。
I had lived in Japan for 2 years before I went to US. 米国へ行く前に2年間日本に住んでいた。
I will have lived in Japan for 2 years till next year. 来年まで日本に住んでいるでしょう。
- (3) 完了・結果 I have just finished the work. ちょうど仕事を終えたところです。
I had already finished the work when my boss called. 上司が電話した時には既に仕事を終えていた。
I will have finished the work when my boss calls. 上司が電話をする時には(すでに作業を始めているか今から着手する)仕事を終えているでしょう。

未来完了形と未来形の違いは、未来完了形は、過去のある時点または、現在から未来のある時点までの状態や動作を表現するのに対し、未来形は、未来のある時点の状態や動作を表すので、I will finish the work when my boss calls. だと、(まだ手を付けていない)仕事を上司が電話する時には終わるだろう。との意味となりますので、未来形などの基本時制では、時間軸ではなくある点の時点を表す違いとなります。

今回は、ここまでにします。